

## ニセコ周辺 白老岳、白樺山、前目国内岳、羊蹄山

中村 斎藤(健)

【日時】2009年1月29日(木)～2月1日(日)

【メンバー】中村(L)、田辺(利)、斎藤(健)

昨年は北海道に行けず、パウダーシーズンがぱっとしなかった。やはりこの時期にニセコに行かねば良い思い出は作れない！夏からメンバー募集し始め、迎えた本番。天気はまずまずのようだ。

## 【1日目】美笛峠～白老岳(945m峰)

初日は都内からの移動に時間が取られてしまうため、千歳からニセコへと向かう途中で、半日くらいで入れる山を探した。

トンネルを抜けたところに駐車スペースがあり、そこから入山することにする。下調べしたルートだと、沢沿いに行くようであったが、順当に送電線のある尾根を経由することにした。

尾根を登りきると平原となる。鉄塔から離れ右の林に入ると、再び尾根らしくなる。藪を避け、トラバース気味に尾根を登るが、アイスバーンの上に、数cmの新雪が乗り、シールが効かない！これならまだ藪漕ぎのほうがましと、尾根に戻る。

若干吹雪いているものの、気温が高いためか寒くは感じない。視界はあまりよくないが、GPSを駆使して白老岳北東にある945m峰に立つ。時間もないし、白老岳まで行っても楽しい滑走ルートは取りにくそうなので、ここで引き返すことにする。

登りの雪の感じからすると、スピードが出やすい雪質だ。斜度がないほうが楽しめそうなので、登った隣の尾根を滑ることに決める。

期待通りのスピードパウダーだ！初日から、ベストな雪を楽しめた。さて、車に戻るには、三ノ沢を渡らなければならない。雪不足なのかスノーブリッジがなかなか現れず、二股辺りで渡る。尾根に登り、行きトレースに合流。明日からのニセ



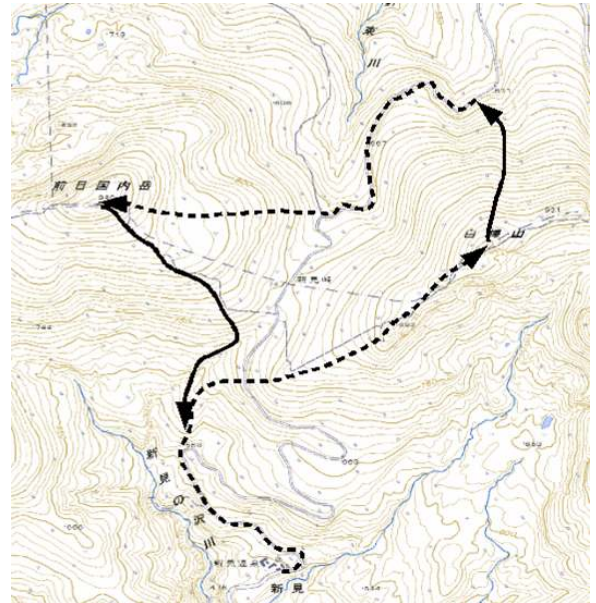
利香

コツアーに期待の持てる山となった。

【2日目】新見温泉～白樺山北面滑走～前目国内岳～新見温泉

前日の白老岳の雪が、氷板の上に乗らずに新雪が乗ったスピードの出る雪で、雪崩も心配だったことから、計画していた急斜面のチセヌプリを変更して、サブプランの白樺山と前目国内岳の2つのピークを踏む欲張りプランとした。

新見温泉の前に車を止めさせてもらって、林道を進む。林道がUターンする場所から尾根に取り付く。天気は快晴。林道を横切り、台地で休憩。風もなく、厳冬期の北海道と思えないほどの暖かさだ。これから登る白樺山や目国内、チセヌプリなどニセコ連山が良く見える。



白樺山からニセコ連峰



白樺山から日本海

白樺山の山頂は奥にあり、稜線上を歩くことになるが、これがまたすばらしい展望だ。先ほどまでの景色に加え、日本海まで見渡せ、これぞニセコの山である。山頂で記念写真を取ったあと、いよいよ北面。

本日のメインディッシュ、白樺山北面の滑走だ。事前情報を全く集めてこなかったが、地図で見ると均一な斜度が300m以上も続く。山頂から見ると左側は藪っぽいが、右側は白い斜面が広がっている。右に行き過ぎると林道歩きが長くなるので、藪地帯との境に沿って下りること。

雪質は上々。昨夜のニセコの町は雨だったが、この辺りはアラレに近い雪が降ったようだ。雪の粘着度が低く、パウダーのような滑り心地。巻き上げた雪が足元に影を作り楽しい。

林道に出合い、小休止。再度シール

をつけて、次は前目国内を目指す。林道が南向きになると暑い！汗をかきながら、山頂に突き上げる斜面をまっすぐ登る。一旦広い台地に出れば、山頂まではもうひと登り。



健太郎



中村

前目国内山頂からは、岩峰を持つ目国内や岩内岳が見える。岩内岳も真っ白な斜面で、面白そうだ。

あとは、新見温泉に帰るだけ。半日太陽の日差しを浴びた雪は、重くなっているのは目に見えていたが、白樺北面を十分に楽しんだので、計画通り南面を下りる。もう少し上で沢を渡るつもりだったが、少し下りすぎたようだ。しかし、沢は完全に埋まっており、適当な場所を見つけ、登りで使った尾根に乗る。

今回の宿は、普通の家庭の台所のような自炊設備がついた素泊まり宿である。しかし、効率化を図るため、外で食事をすると決めていた。初日は魚料理だったので、今日は肉料理にする。宿の人に歩いて行けるところにジンギスカン屋があることを教えてもらう。ジンギスカンといえば鉄鍋だと思うが、

ここは網焼き。夕方合流した比内さんと一緒に、4人で1.2kgの肉をたいらげた。(中村記)

【3日目】喜茂別登山口～羊蹄山（森林限界1330mまで）：トマ3人＋比内（会員外）  
蝦夷富士とも言われる羊蹄山。ニセコのどこに居ても平原に独立して聳える姿は目に留まる。山登りという意味では、今回のニセコツアーの中で私が楽しみにしていた場所だ。

羊蹄山の山スキールートはいくつかあるようだが、今回は、羊蹄山の東側の喜茂別側からのルート。アプローチ距離が長いのが特徴だ。

登山道入り口に車を止め、出発。長い平地は、利香さんが快調にとぼしていく。白樺の林がずーと続き、なかなか高度が上がっていかない。そろそろ、平原に飽きてきたころによりやく斜度が出てくる。

この山の面白いところは、平原の中に聳える独立峰のため、高度を上げれば上げ

るほどいろいろなものが見えてくるところだろう。洞爺湖、尻別岳、喜茂別岳がよく見える。また、平地を貫く国道がすぐ手の届きそうなところに見えることから、山の中に居ることを忘れてしまいそうになるぐらいだ。

今回、私だけディアミール。あとの3人はテレマーク。私が先頭で直登していたのだが、構造上、登りやすい角度に違いがあったようで、テレマークの方達には申し訳なかった。

風もなく、雪も硬くなっていないので、どこまででも登っていけそうだが、木が無くなったあたりで折り返すことにした。

大きな斜面、平地に飛び出して行くような高度感、大回りターンで気持ちよく滑っていける。登りは距離があるように感じても、大回りでガンガン滑っていけば、1000mある標高差もあっという間。

「午後は何して遊びます？」といった時間に、登山道入り口まで戻ってきてしまった。（斎藤記）

#### 【4日目】

前夜は手嶋会長と合流して、北海道の幸を囲んだ宴会となった。天気予報で、悪天が予想されることを知り、宴会はエンドレスに。結局寝たのは2時半だった。

朝起きると、予報通り吹雪いている。朝ごはんを食べ、お世話になった自炊宿を後に、ヒラフスキー場へ。ゲレンデでもパウダーを食い、毎日パウダー三昧でした。（中村記）

【地形図】白老岳、チセヌプリ、羊蹄山

#### 【行程】

1/29 トンネル出口駐車場(11:52)～945m峰(13:55/14:14)～駐車場(15:15)

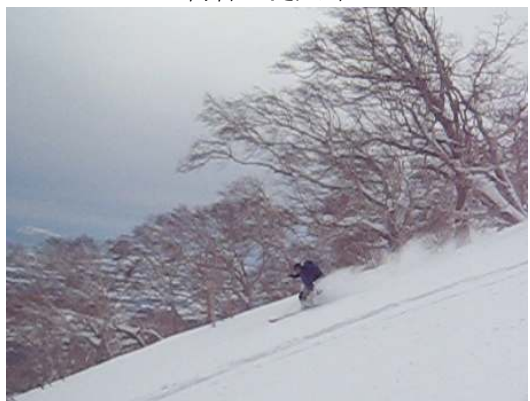
1/30 新見温泉(8:48)～白樺山(10:46/11:04)～林道出合(11:19)～前目国内岳



比内さん



利香&健太郎



中村



(13:12/33)～新見温泉(14:11)

1/31 登山道入り口(8:40)～森林限界1330m(11:40/12:00)～登山道入り口(12:40)